

Pioneer

DEH-350

CD/ チューナーメインユニット

取扱説明書

目次 4 ページ

carrozeria

安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



警告

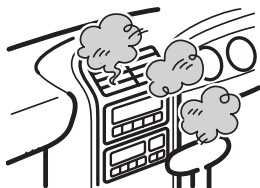
[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なおいがる・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

[使用方法]

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

目次

安全のために必ずお守りください

- 絵表示について 2
- 安全上のご注意 3

はじめに

- ご使用になる前に……………6
 - WMA について
 - MP3 について
 - 「CD TEXT」について
 - バッテリー上がりを防ぐために
- 各部のなまえ……………7
 - 本体
 - ディスプレイ

ここだけ読めばすぐ使えます

- 基本的な操作……………8
 - 電源オン・オフ
 - ソース切り換え
 - 音量調節
- CD、WMA / MP3 / WAV
のふだんの操作……………9
 - CD を再生する
 - フォルダーを選ぶ
 - 曲を選ぶ
 - 早送り・早戻し
 - CD を取り出す
- ラジオのふだんの操作……………10
 - バンドを選ぶ
 - 放送局を選ぶ

内蔵CDでCDを聞く

- 繰り返し再生する……………11
- 違う曲順で再生する……………11
- 聞きたい曲やフォルダー
などをさがす……………12
- 再生を一時停止する……………12
- ディスク再生時の音質を調節する……………13
- 10曲飛びに選曲する……………13
- タイトル表示を切り換える……………14

ラジオを聞く

- 複数の放送局を自動的に登録する……………15
- 放送局を1局ずつ登録する……………15
- 登録した放送局を呼び出す……………15

音を調節する

- 音質を手軽に調節する……………16
- オーディオメニューの切り換えかた……………16
- 前後左右の音量バランスを調節する……………16
- イコライザーカーブを調節する……………17
- 小さな音量でも聞きやすくする……………17
- 各ソースの音量を揃える……………18

便利な機能

- 交通情報を受信する……………18
- 時計を合わせる……………18
- 時計を表示する……………19
- 外部機器 (AUX) の音声を
聞けるようにする……………19

取り付けの準備

- 接続・取り付け部品を確認する……………20
 - 本体関係
 - コード関係
- 取り付けの前に知ってほしいこと……………20
 - 取り付け上のご注意
 - 取り付けのポイント
- 接続の前に知ってほしいこと……………21
 - 接続上のご注意
 - 接続のポイント
 - バッテリー交換時のご注意

接続・取り付けと動作確認

- 接続する……………22
- 本体を取り付ける……………24
- 動作を確認する……………25

付録

CDの正しい使いかた	26
使用できる CD について	
「DualDisc」の再生について	
取り扱い上のご注意	
保管上のご注意	
お手入れについて	
CD 再生の環境について	
WMA / MP3 / WAV	
ファイルについて	28
フォルダーと WMA / MP3 /	
WAV ファイルについて	
WMA とは？	
再生できる WMA ファイルについて	
MP3 とは？	
再生できる MP3 ファイルについて	
WAV とは？	
再生できる WAV ファイルについて	
故障かな？と思ったら	31
こんなメッセージが表示されたら	32
保証書とアフターサービス	33
おもな仕様	34

はじめに

ここだけ読めばすぐ使えます

内蔵CDでCDを聞く

ラジオを聞く

音を調節する

便利な機能

取り付けの準備

接続・取り付けと動作確認

付録

ご使用になる前に

WMA について



外装箱に印刷された、Windows Media™ のロゴは、本機が WMA データの再生に対応していることを示しています。

Windows Media、Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。

MP3 について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。

詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com>

をご覧ください。

- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」は、CD のタイトル / 歌手名 / 曲名などの文字情報が収録された CD です。ディスクタイトル面に下記マークの付いている CD は、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



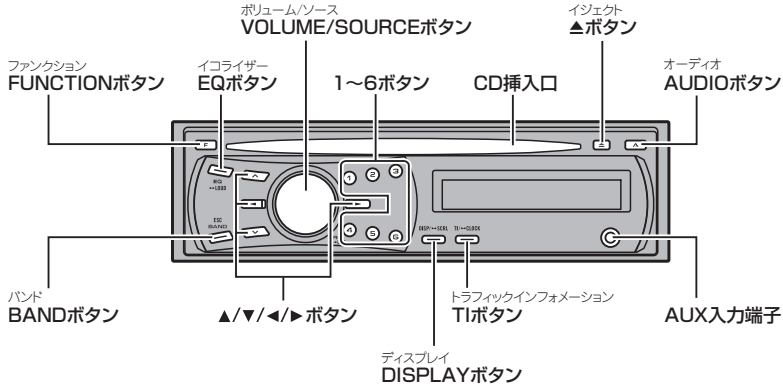
バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源 OFF のときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチを ON（または ACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

各部のなまえ

本体



ディスプレイ

トラック・チャンネルナンバーインジケータ

トラック(曲)番号や、プリセットチャンネル番号を表示します。
曲数が100を超えたときは、左上の三角マークが点灯します。

メイン表示部

バンドと周波数(ラジオ)
再生経過時間(オーディオCD)
フォルダー番号、再生経過時間(WMA/MP3/WAV)
各種設定内容(ファンクション・オーディオ・初期設定)などを表示します。



MP3/WMA インジケータ

MP3/WMA ファイルを再生しているときに、再生中の形式に対応したインジケータが点灯します。

ステレオインジケータ

ステレオ放送受信中に点灯します。

LOUD インジケータ

ラウドネスがONのときに点灯します。

RPT インジケータ

リピート再生時に点灯します。

1 電源を ON にする

SOURCE ボタンを押す
本機の電源が ON になります。

2 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す
SOURCE ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



ソースとは

- SOURCE ボタンを押すと切り換わる、内蔵 CD やラジオなどの音源のことです。

3 音量を調節する

VOLUME を回す
右に回す：大きくするとき
左に回す：小さくするとき

- 約 4 秒間、音量が表示されます。

4 電源を切る

SOURCE ボタンを長く押す
本機の電源が切れます。

メモ

- 音量の調節範囲は 0 ～ 62 です。
- ディスクを CD 挿入口に差し込んだときも、電源が ON になります。
- ディスクがセットされていないときは、内蔵 CD には切り換わりません。
- AUX は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください。(→ 19 ページ「外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする」)
- 本機の青リード線 (アンテナコントロール) に車側のアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- CD をセットしたまま電源を OFF にすることもできます。
- 電源が OFF のときでも、EJECT ボタンを押して CD を取り出すことができます。
- 時計を表示させている場合、電源を OFF にしても時計は表示されます。

CD、WMA / MP3 / WAV のふだんの操作

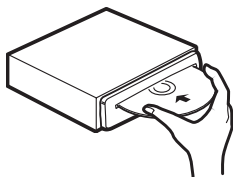
CDを再生する
フォルダーを選ぶ 曲を選ぶ
早送り・早戻し CDを取り出す

画面表示例



1 ディスクを挿入口に差し込む

再生が始まります



2 ▲ または ▼ ボタンを押す

WMA / MP3 / WAV の場合、フォルダーが選べます

次のフォルダーを選ぶ： ▲ を押す
前のフォルダーを選ぶ： ▼ を押す

3 ◀ または ▶ ボタンを押す

聞きたい曲を選ぶとき
次の曲を選ぶ： ▶ を押す
前の曲を選ぶ： ◀ を押す

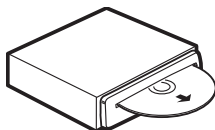
早送り／早戻しをするとき
早送り： ▶ を長く押す
早戻し： ◀ を長く押す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

再生が終わります

5 EJECT ボタンを押す

ディスクが出てきます



知っている则便利

- WMA / MP3 / WAV の場合、BAND ボタンを長く押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー 01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。
- ディスクをセットしたまま、電源を OFF にしたり他のソースに切り換えることができます。
- WMA / MP3 / WAV ファイルと音楽データが混在しているディスクの場合、再生を切り換えることができます。切り換えるときは、BAND ボタンを押します。再生は、いちばん先頭の曲から始まります。

ご注意

- ディスクはタイトル面を上にして差し込みます。
- CD 挿入口には、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクを挿入すると、本機はディスクからファイル形式などの情報を読みとります。この間、画面には FRMTREAD と表示されます。
- 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10 曲飛びに選曲されます。
- 8cm CD もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。
- WMA / MP3 / WAV ファイルを早送り／早戻ししているときには、音声は出力されません。
- VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り／早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。
- 出てきた CD はすぐに取り出して保管してください。CD 挿入口からディスクを出したまま走行すると危険です。
- EJECT ボタンを押して CD 再生をやめたときは、自動的に電源 OFF になります。

画面表示例

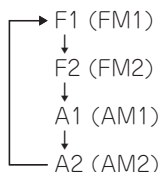


1 SOURCE ボタンを押す

ソースがラジオになるまで押します

2 BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、バンドが次の順序で切り換わります



3 ◀ または ▶ ボタンを押す

放送局を手動で選ぶとき（手動選局）

高い周波数の放送局を選ぶ：▶を押す
低い周波数の放送局を選ぶ：◀を押す

放送局を自動で選ぶとき（自動選局）

高い周波数の放送局を自動で選ぶ
：▶を長く押し離す
低い周波数の放送局を自動で選ぶ
：◀を長く押し離す

4 他のソースに切り換えるか、電源をオフにする

ラジオの受信が終わります

知っているとも便利

- バンドごとに放送局を6局ずつ登録できます。
- ◀または▶ボタンを押している間、途中の放送局を飛ばすことができます。離れたところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには手動選局をおすすめします。

繰り返し再生する

リピート

曲を繰り返し（リピート）再生できます。繰り返しの範囲は、今聞いている曲やディスク全体などから選べます。選べる範囲はディスクによって異なります。

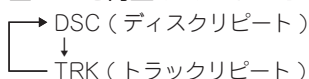
1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

RPT を選びます

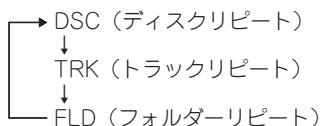
2 ◀ または ▶ ボタンを押す

リピートプレイする範囲が選べます

■ CD を再生しているとき



■ WMA / MP3 / WAV を再生しているとき



DSC：セットされているディスクを通して再生
 TRK：再生中の曲を繰り返し再生
 FLD：再生中のフォルダーを繰り返し再生

3 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

📌 ご注意

- 再生範囲がFLDのときは、再生中のフォルダー内の曲(WMA / MP3 / WAV ファイル)だけが再生されます。サブフォルダー内の曲は再生されません。

違う曲順で再生する

ランダム

曲を順不同（ランダム）に再生できます。いつもと違った曲順で音楽を楽しみたいときに便利です。

1 ランダムプレイする範囲を選んでおく

ランダムプレイは、RPT で選んだ範囲で行われます

2 FUNCTION ボタンを押す

RDM を選びます

3 ▲ ボタンを押す

ランダムプレイ設定がONになります。次の曲（フォルダー）から、ランダムに再生されます。

▼ ボタンを押すとOFFになります。

4 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

📌 ご注意

- 再生範囲がTRKのときにランダムプレイ設定をONにすると、再生範囲が次のように切り換わってランダムプレイが行われます。
 - ・CD：DSC
 - ・WMA / MP3 / WAV：FLD

聞きたい曲やフォルダーなどをさがす

スキャン

曲やフォルダーのはじめの部分だけを、約 10 秒間ずつ次々に聞くことができます（スキャンプレイ）。聞きたい曲をさがすときに便利です。スキャンプレイの種類は、再生範囲切換で設定できます。

1 スキャンプレイする範囲を選んでおく

スキャンプレイは、RPT で選んだ範囲で行われます

2 FUNCTION ボタンを押す

SCAN を選びます

スキャンプレイの種類と再生範囲

- CD 再生時
（ディスクリピート時：トラックスキャン）
ディスク内の全曲を、約 10 秒ずつ再生します。
- WMA / MP3 / WAV 再生時
（フォルダーリピート時：トラックスキャン）
再生中のフォルダーの全曲を、約 10 秒ずつ再生します。
- WMA / MP3 / WAV 再生時
（ディスクリピート時：フォルダースキャン）
ディスク内の全フォルダーの 1 曲目だけを、約 10 秒ずつ再生します。

3 ▲ ボタンを押す

スキャンプレイ設定が ON になります
曲のはじめの約 10 秒間が次々に再生されます。

スキャンプレイを始めて約 30 秒たつと、ふだんの再生画面に自動で戻ります。

4 聞きたい曲が再生されたら、▼ ボタンを押す

スキャンプレイ設定が OFF になります

- ふだんの再生画面に戻っていたら、まず手順 2 の操作で SCAN を選びます。次に、▼ ボタンを押してください。スキャンプレイ設定が OFF になります。

5 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります



ご注意

- スキャンプレイを始めた曲（フォルダー）まで戻ると、スキャンプレイは解除されます。
- 再生範囲が TRK（トラックリピート）のときにスキャンプレイ設定を ON にすると、再生範囲が次のように切り換わってスキャンプレイが行われます。
CD：DSC（ディスクリピート）
WMA / MP3 / WAV
：FLD（フォルダーリピート）

再生を一時停止する

ポーズ

曲の再生を一時停止できます。

1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

PAUSE を選びます

2 ▲ ボタンを押す

再生が一時停止されます

▼ ボタンを押すと OFF になります。

3 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

ディスク再生時の音質を調節する

COMP / BMX

音質を調節する機能として、COMPとBMXがあります。COMPはクラシックなど音量差の大きい曲に、BMXは圧縮された音楽データに対して効果的です。

COMPとは

- COMPは、「Compression（コンプレッション）」の略です。大きな音と小さな音の音量差（ダイナミックレンジ）を小さくします。

BMXとは

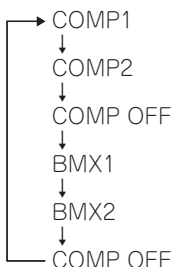
- BMXは、「Bit Matrix（ビットメトリックス）」の略です。音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善します。

1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

COMP (BMX) を選びます

2 ▲ または ▼ ボタンを押す

コンプレッション設定の種類が選べます



知っている则便利

- COMP / BMXの効果はいずれも、1より2のほうが大きくなります。

3 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

10曲飛びに選曲する

FF/REV

10曲以上収録されているディスクまたはフォルダーの場合、10曲飛びに選曲できます。

1 ソースを内蔵CDにして、FUNCTIONボタンを押す

FF/REV (ROUGH) を選びます

2 ▶ ボタンを押す

ラフサーチ設定がROUGHに切り換わり

ます
◀ ボタンを押すと、早送り/早戻しをするFF/REVに切り換わり

3 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

4 ◀ または ▶ ボタンを長く押す

10曲ごとに選曲できます

10曲前を選ぶとき：◀を長く押す

10曲先を選ぶとき：▶を長く押す

📌 ご注意

- 曲数が10以下のディスクでラフサーチをすると、最初または最後の曲が選択されます。残りの曲数が10以下のときにラフサーチをした場合も同様です。

タイトル表示を切り換える

「CD TEXT」や WMA / MP3 / WAV ディスク再生中に、トラックタイトルやディスクタイトル、アーティスト名などを表示させることができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見することもできます。



ご注意

- 本機の文字表示は、半角英数字のみに対応しています。



知っていると便利

- 隠れている文字を表示させるには、DISPLAY ボタンを長く押しします。



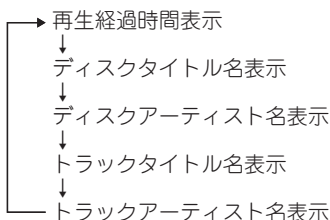
ご注意

- タイトル名などが収録されていないディスクで表示を切り換えると、「NO NAME」などが表示されません。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- MP3 ファイルをライティングした iTunes のバージョンによっては、ファイル名などが正しく表示されないことがあります。

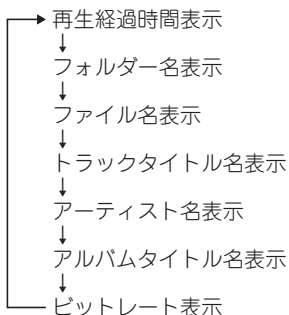
1 ソースを内蔵CDにして、DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります

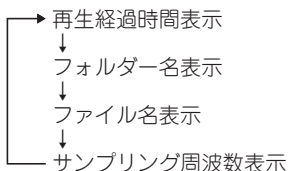
■ CD TEXT を再生しているとき



■ WMA / MP3 を再生しているとき



■ WAV を再生しているとき



複数の放送局を自動的に登録する

BSM

BSM機能を使うと、受信状態の良い放送局を自動でさがして登録できます。登録された放送局は、手軽に受信できます。

BSMとは

- BSMは、「Best Stations Memory（ベストステーションズメモリー）」の略です。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

登録するバンドを選びます

- バンド1とバンド2を切り換えて使うことで、より多くの放送局を登録できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を登録しておきます。旅行先などで、どんな放送局があるか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと便利です。バンド1に登録した放送局を消さずに、バンド2でその地域の放送局を受信できます。

2 FUNCTION ボタンを押す

BSMを選びます

3 ▲ ボタンを押す

BSMによる登録が始まります
登録が完了すると「BSM」の点滅が終わり、1の番号に登録された放送局を受信します。

▼ ボタンを押すと、BSMの登録処理を途中でやめることができます。

4 BAND ボタンを押す

ふだんの受信画面に戻ります

ご注意

- 受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前に登録した内容が残ることがあります。

放送局を1局ずつ登録する

プリセットメモリー

1～6のボタンを使って、よく聞く放送局を1局ずつ手動で登録できます（プリセットメモリー）。登録した放送局は、手軽に受信できます。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

登録するバンドを選びます

2 ◀ または ▶ ボタンを押す

登録したい放送局を選びます

3 1～6ボタンの1つを長く押す

放送局が登録されます

登録動作中に押したボタンの番号（登録番号）が点滅します。

登録が完了すると登録番号の点滅が終わり、その放送局を受信します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットチューニング

BSMやプリセットメモリーで登録した放送局を、手軽に受信できます。

1 ソースをラジオにして、BANDボタンを押す

放送局を登録したバンドを選びます

2 登録した放送局を受信する

■直接受信するとき
1～6ボタンの1つを押す

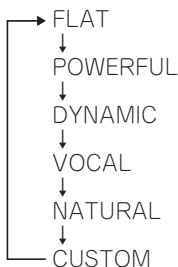
■順番に受信するとき
▲ または ▼ ボタンを押す

音質を手軽に調節する

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを選ぶだけで、音質を手軽に調節できます。イコライザーは、FLAT / POWERFUL / DYNAMIC / VOCAL / NATURAL / CUSTOM の 6 種類です。

1 EQ ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序でイコライザーカーブが切り換わります

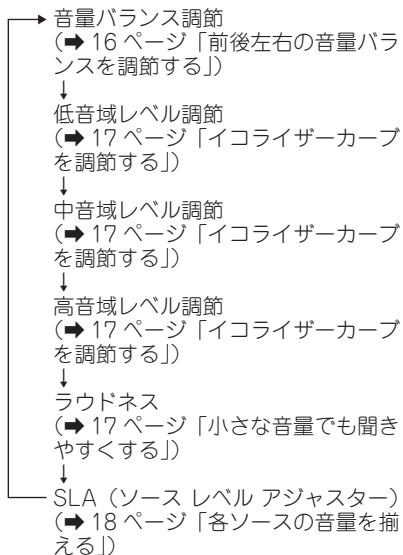


メモ

- CUSTOM には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブが登録されます。
- “FLAT” カーブでは、イコライザーによる音の補正は行いません。イコライザーの効果を確認するときに使用すると便利です。

1 AUDIO ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次の順序で機能が切り換わります



メモ

- FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。
- ふだんの再生画面に戻るときは、BAND ボタンを押します。また、約 30 秒間、何も操作しなかったときは自動で戻ります。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーからの音量バランスを調節できます。より自然に聞こえるバランスに設定してください。

オーディオメニューの切り換えかた

「音量バランス調節」「LOUDNESS」などの音質調節機能を使うときは、オーディオ調節メニューで操作します。

1 AUDIO ボタンを押す

FAD/BAL (音量バランス調節メニュー) が表示されます

2

▲ または ▼ ボタンを押す

前後の音量バランス (FAD) を調節
できます

前を強めるとき : ▲ を押す

後を強めるとき : ▼ を押す

前後のバランスは、F15 ~ R15 の範囲で
調節できます。

3

◀ または ▶ ボタンを押す

左右の音量バランス (BAL) を調節
できます

右を強めるとき : ▶ を押す

左を強めるとき : ◀ を押す

左右のバランスは、L15 ~ R15 の範囲で
調節できます。

4

BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

イコライザーカーブを
調節する

バス/ミッド/トレブル

あらかじめ用意されたイコライザーカーブに簡
単な補正を加えることができます。これにより、
よりお好みであった音質を作り出すことができ
ます。

設定したイコライザーカーブは、自動的に
"CUSTOM" カーブに登録されます。

1

調節のもとになる
イコライザーカーブを選ぶ

(→ 16 ページ「音質を手軽に調節する」)

2

AUDIO ボタンを押す

BASS / MID / TREBLE
(低音域 / 中音域 / 高音域 調節メ
ニュー) が表示されます

3

▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを調節できます

レベルを大きくするとき : ▲ を押す

レベルを小さくするとき : ▼ を押す

レベルは +6 ~ -6 の範囲で調節できます。

4

手順 2、3 の操作を繰り返して、
調節を行う

低音域 (BASS) / 中音域 (MID) /
高音域 (TREBLE) のすべての音域
を調節します

5

BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

小さな音量でも聞きやす
くする

ラウドネス

小さな音量で音楽を聞いていると、低音・高音
が不足しているように感じることがあります。
ラウドネスを使うと、この不足感を補って、音
を聞きやすくすることができます。

1

AUDIO ボタンを押す

LOUD (ラウドネスメニュー) が
表示されます

2

▲ ボタンを押す

ラウドネス (LOUD) が ON になり
ます

▼ ボタンを押すと、OFF になります。

3

◀ または ▶ ボタンを押す

ラウドネスの効果を選べます

効果を大きくするとき : ▶ を押す (HI)

効果を小さくするとき : ◀ を押す (LOW)

次のページに続く

4 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

各ソースの音量を揃える

SLA

ソースを切り換えたときに、ソースごとの音量が違ふことがあります。SLA を使うと、FM の音量を基準にして各ソースの音量を揃えることができます。

SLA とは

- SLA は、「Source Level Adjuster (ソースレベル アジャスター)」の略です。

1 AUDIO ボタンを押す

SLA (SLA 調節メニュー) が表示されます

📌 ご注意

- FM を聞いているときは、SLA には切り換わりません。

2 ▲ または ▼ ボタンを押す

レベルを調節できます
レベルを大きくするとき： ▲ を押す
レベルを小さくするとき： ▼ を押す
レベルは+ 4 ~ - 4 の範囲で調節できます。

3 BAND ボタンを押す

ふだんの再生画面に戻ります

交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

高速道路などで放送されている交通情報ラジオを、瞬時に受信できます。この機能は、電源 OFF のときでも、どのソースからでも操作可能なので、情報を逃さず受信できます。

1 TI ボタンを押す

交通情報を受信します

TI ボタンをもう一度押すと、交通情報を受信する前の状態に戻ります。

2 ◀ または ▶ ボタンを押す

交通情報の周波数を切り換えます

1 620 kHz を選ぶとき： ◀ を押す
1 629 kHz を選ぶとき： ▶ を押す

✎ メモ

- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定できます。

時計を合わせる

時計調節

時計を表示するために、時計を合わせておきます。

1 SOURCE ボタンを長く押す

電源を OFF にします

2 SOURCE ボタンを長く押す

初期設定モードが表示されます

3 FUNCTION ボタンを押す

時計調節を選びます

4

◀ または ▶ ボタンを押す

時または分を選びます
押すごとに、時と分が切り換わります。

5

▲ または ▼ ボタンを押す

時刻を合わせます
時刻を進めるとき : ▲ を押す
時刻を戻すとき : ▼ を押す
分を調節すると、0 秒からカウントが始まります。

6

BAND ボタンを押す

電源 OFF の状態に戻ります

時計を表示する

時計表示

本機のディスプレイに、時計を表示できます。時計は、本機の電源が ON のときも OFF のときも表示させることができます。



時計表示について

- 本機に時計を表示させる前に、時計を合わせてください。(→ 18 ページ「交通情報を受信する」)

1

TI ボタンを長く押す

時計が表示されます

画面表示例



もう一度 TI ボタンを長く押すと、時計表示が解除されます。



メモ

- 本機の電源が ON のときは、時計表示中に他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。この場合、25 秒後に時計表示に戻ります。

外部機器 (AUX) の音声を聞けるようにする

AUX

本機にポータブル音楽再生機器や、VTR などの外部機器を接続して、その音声を聞くことができます。



外部機器を接続するには

- 本機に外部機器を接続するには、本機前面にある AUX 入力端子に、3.5 mm φ ステレオミニジャックを差し込みます。

1

SOURCE ボタンを長く押す

電源を OFF にします

2

SOURCE ボタンを長く押す

初期設定モードが表示されます

3

FUNCTION ボタンを押す

AUX を選びます

4

▲ ボタンを押す

外部機器設定が ON になります
▼ ボタンを押すと、OFF になります。

- AUX (外部機器) は初期設定では ON に設定されています。使用しない場合は OFF に設定してください。

5

BAND ボタンを押す

電源 OFF の状態に戻ります

車への取り付けは、必ず本書と、別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や、指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。

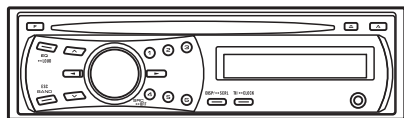
この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

※別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

接続・取り付け部品を確認する

本体関係

本体 × 1



トラスネジ (5 mm × 8 mm) × 4



皿ネジ (5 mm × 9 mm) × 4



コード関係

電源コード × 1

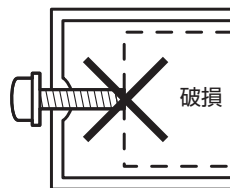


取り付けの前に知ってほしいこと

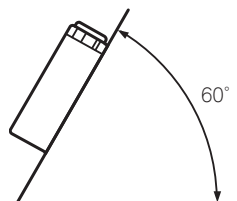
取り付け上のご注意

- 必ず本機および取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。

ケース



- 本機の性能を十分に発揮するために、水平に対して 60 度以内の角度で取り付けてください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

取付キットを別売しています

- 車種や年式によっては、別売のパイオニア製取付キットを使用しないと、取り付けられないこともあります。当社では車種別専用取付キットを用意していますので、販売店にご相談ください。
- ダッシュボード下へ取り付ける場合は、D サイズ用汎用取付ケースやアンダーダッシュ用取付キットをご使用ください。

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。
- 本機のアンプには BPTL という回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（－）リード線を、共通にして接続しないでください。
- 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力 50W 以上のハイパワー用で、インピーダンスが 4 Ω から 8 Ω のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。
- 黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。
- ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（アンテナコントロール）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオが ON にならないと、ブースターが ON にならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

ノイズ防止のために

- アンテナコードは、スピーカーコードおよび電源リード線からできるだけ離して配置してください。

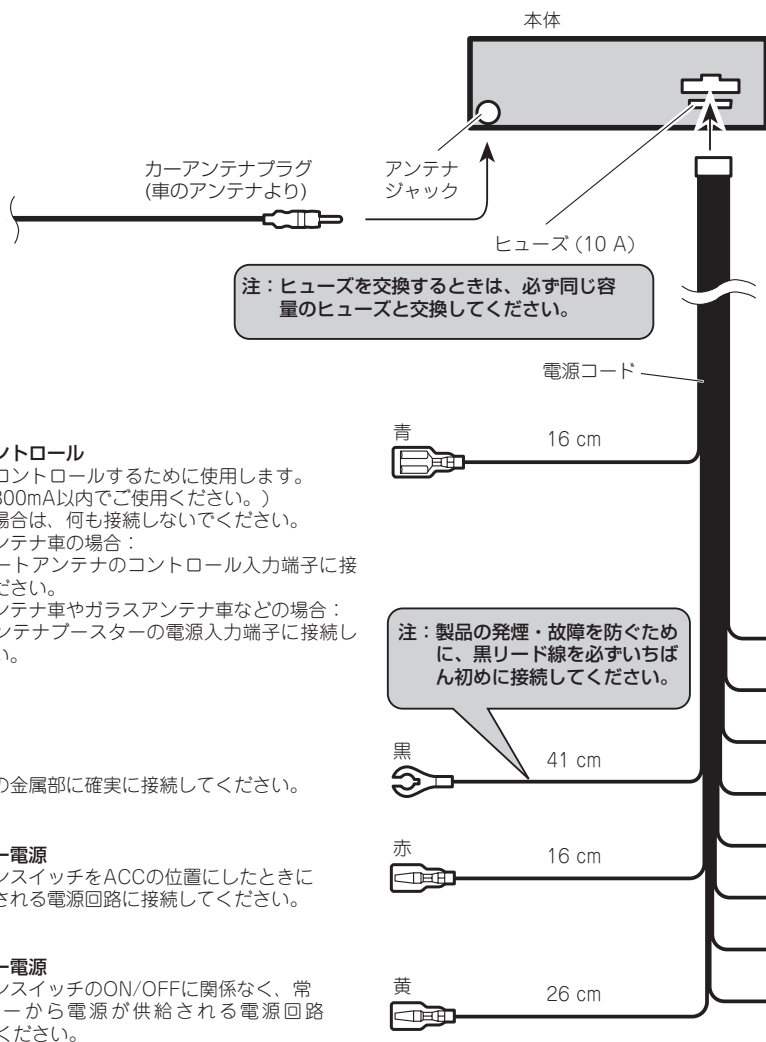
電源配線キットを別売しています

- システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

バッテリー交換時のご注意

- 車のバッテリー交換などで本機に電源が供給されなくなると、本機は初期状態に戻ります。本機が初期状態に戻ると、ラジオのプリセットメモリー、時計、オーディオ調節などの設定内容は消去されてしまいます。ラジオのプリセットメモリー（➡ 15 ページ「放送局を 1 局ずつ登録する」）や時計調節（➡ 18 ページ「時計を合わせる」）を再設定してください。オーディオ調節の設定内容などは、メモしておくことをおすすめします。再設定の方法については、それぞれのページを参照してください。

接続する



アンテナコントロール

アンテナをコントロールするために使用します。
(12VDC、300mA以内でご使用ください。)
下記以外の場合は、何も接続しないでください。

- オートアンテナ車の場合：
車側のオートアンテナのコントロール入力端子に接続してください。
- ルーフアンテナ車やガラスアンテナ車などの場合：
車側のアンテナプースターの電源入力端子に接続してください。

アース

車のボディの金属部に確実に接続してください。

アクセサリ電源

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続してください。

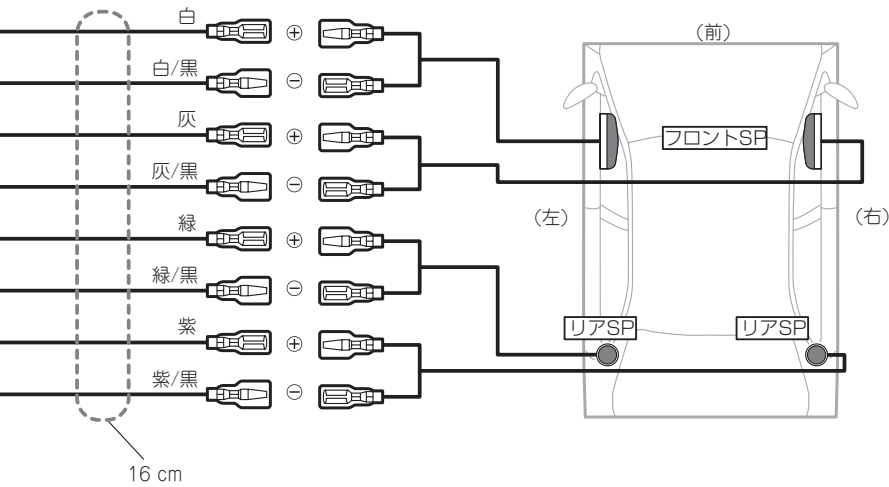
+バッテリー電源

車のエンジンスイッチのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。

注：赤、黄リード線は車のヒューズユニットを通した後の端子に接続してください。

詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

接続・取り付けと動作確認



注：スピーカーを接続しないスピーカーリード線には、何も接続しないでください。

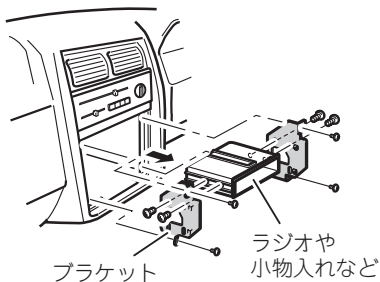
本体を取り付ける

取り付け例（トヨタ車、日産車への取り付け）

1 車のラジオ、小物入れなどを取り外す

ラジオ、小物入れなどを取り外し、それらを止めているブラケットを取り外します。

そのブラケットを使用して、本機を取り付けます。



ご注意

- 取り外すネジの位置などは車種により異なります。詳しくは、お買い上げの販売店、または、最寄りのディーラーにお問い合わせください。

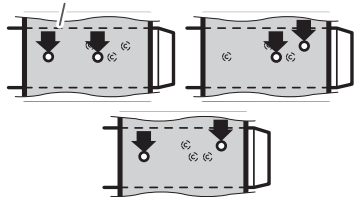
2 ネジ止めする位置を確認する

ブラケットを本機に重ねて、ネジ穴が合う位置を確認してください。

ブラケットのネジ穴は次のタイプがあります。

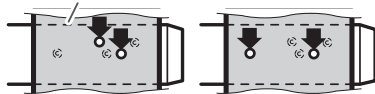
■トヨタ車の場合

トヨタ車ブラケット



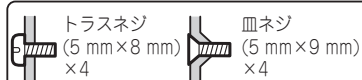
■日産車の場合

日産車ブラケット

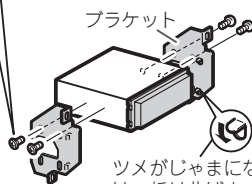


3 ブラケットを付属のネジで取り付ける

左側、右側、それぞれ2カ所ずつ、付属のネジでネジ止めして、元通り車に取り付けます。



ブラケットのネジ穴の形状に合わせてネジを選びます。



動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する



確認

- 接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

2 車のエンジンをかける



3 本機の動作を確認する

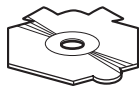
CD の正しい使いかた

使用できる CD について

- ・ 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- ・ 本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。コピーコントロール CD などの CD 規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ・ ひび、キズ、そりのある CD は使用しないでください。
- ・ 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



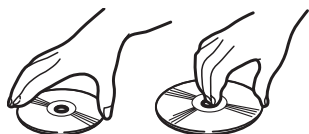
- ・ 音楽用 CD レコーダーまたはパソコンで記録した CD-R/CD-RW ディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- ・ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- ・ 直射日光や高温など、車内での保管状況により、CD-R/CD-RW ディスクは再生できなくなる場合があります。
- ・ CD-R/CD-RW ディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ・ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW ディスクには対応していません。
- ・ CD-R/CD-RW ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

「DualDisc」の再生について

- ・ 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- ・ DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- ・ 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合がでる場合があります。
- ・ ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- ・ 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

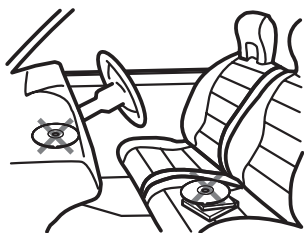


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがぞらないように、必ずケースに入れて保管してください。

お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのを待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

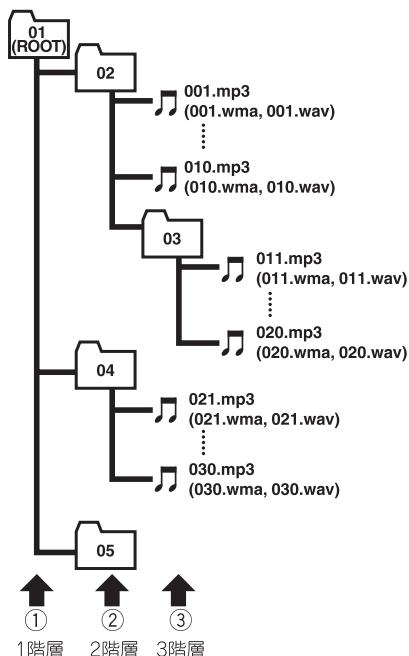
メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

WMA / MP3 / WAV ファイルについて

フォルダーと WMA / MP3 / WAV ファイルについて

- WMA / MP3 / WAV ファイルを収録した CD-R/CD-RW/CD-ROM のイメージは下図のようになります。



- 本機は WMA / MP3 / WAV ファイルが記録された CD-R/CD-RW/CD-ROM の再生に対応しています。ISO9660 のレベル 1、レベル 2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パケットライトには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。

- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子を含めて 32 文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は 32 文字です。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。
- 曲間 (トラック間) にブランクがない CD を、WMA / MP3 / WAV ファイルとして CD-R/CD-RW/CD-ROM に記録して再生した場合、曲間が音飛びのように聞こえます。



メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに、WMA / MP3 / WAV ファイルと音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA / MP3 / WAV ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます (➡ 9 ページ「CD、WMA / MP3 / WAV のふだんの操作」)。WMA / MP3 / WAV ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は、いちばん先頭の曲から始まります。
- WMA / MP3 / WAV ファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号を表示せず、スキップします。)
- 8 階層までの WMA / MP3 / WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を 2 つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が 99 個まで再生可能です。

WMA とは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver. 7以降を使用してエンコードすることができます。



ご注意

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードした Windows Media Player のバージョンによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 画像データを含む WMA ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

再生できる WMA ファイルについて



ご注意

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。**
- 本機では、Windows Media Player を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。
- 一般的に WMA ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) では 48 kbps ~ 320 kbps、VBR (可変ビットレート) では 48 kbps ~ 384 kbps のビットレートで記録された WMA ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

- デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルを再生したときは、“SKIPPED” と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。
- ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合は、“PROTECT” と表示され、そのディスクは再生できません。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

- 「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ファイルについて



ご注意

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。**

- ID3 tag の Ver. 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 のアルバム名、曲名、およびアーティスト名の表示に対応しています。なお、ID3 tag の Ver. 1.X と Ver. 2.X が混在している場合は、Ver. 2.X が優先されます。
- サンプリング周波数が 32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生する場合のみ、エンファシスに対応します。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16 kHz ~ 48 kHz です。)

次のページに続く

- 一般的に MP3 ファイルは、ビットレートが高いほど音質は良くなります。本機は、8 kbps ~ 320 kbps のビットレートで記録された MP3 ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128 kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

WAV とは？

- 「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

再生できる WAV ファイルについて



ご注意

- WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。
- 本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。**雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けしないでください。**
- 本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz ~ 48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05 kHz ~ 44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数が多いほど音質は良くなります。本機は、LPCM では 8/16 bit、MS ADPCM では 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。ただし、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ大きい量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

故障かな？と思ったら

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。



それでも 直らないときは

「保証書とアフターサービス」をお読みになり、修理を依頼してください。

●共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクタが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。 車両のバッテリーのマイナス端子を外して、1分後再接続してください。
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものとの交換してください。
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を調節してください。 (⇒ 8 ページ「基本的な操作」)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (⇒ 16 ページ「前後左右の音量バランスを調節する」)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (⇒ 16 ページ「前後左右の音量バランスを調節する」)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (⇒ 16 ページ「前後左右の音量バランスを調節する」)
本機が誤動作する。 雑音が入る。	携帯電話などの電波発信機器を本機に近づけて使用している。	電波発信機器を本機から離してご使用ください。

●ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (⇒ 10 ページ「ラジオのふだんの操作」)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (⇒ 10 ページ「ラジオのふだんの操作」)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が悪くなると、雑音が少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (⇒ 10 ページ「ラジオのふだんの操作」)

次のページに続く

故障かな?と思ったら (つづき)

●CD、WMA / MP3 / WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	CDを交換してください。 良くなれば、CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (⇒27ページ「CDの正しい使いかた」)
	CDに曇りや汚れがついている。	CDの曇りや汚れをふき取ってください。 (⇒27ページ「CDの正しい使いかた」)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。 CDにキズやひびがあるとき。	CDの汚れをふき取ってください。 CDを交換してください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-15」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするが、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入した。	CDを交換してください。
「NO AUDIO」	何も録音されていないCD-ROMを挿入した。	WMA / MP3 / WAV ファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている。	CDを交換してください。
「SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生した。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。

保証書とアフターサービス

●保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

●保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービスステーション）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

●ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

おもな仕様

●共通部

使用電源：	DC 14.4 V (10.8 V ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式：	マイナスアース方式
最大消費電流：	10.0 A
外形寸法	(取付寸法) : 178 (W) mm × 50 (H) mm × 162 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) mm × 46 (H) mm × 15 (D) mm
質量：	1.2 kg (コード含まず)

●アンプ／オーディオ部

最大出力：	50W × 4
定格出力：	22W × 4 (50 Hz ~ 15 000 Hz, 5 % THD)
負荷インピーダンス：	4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)
トーンコントロール	(バス) 周波数 : 100 Hz ゲイン : ± 12 dB (ミッド) 周波数 : 1 kHz ゲイン : ± 12 dB (トレブル) 周波数 : 10 kHz ゲイン : ± 12 dB

●CD プレーヤー部

形式：	コンパクトディスクオーディオシステム
使用ディスク：	コンパクトディスク
信号フォーマット	サンプリング周波数 : 44.1 kHz 量子化ビット数 : 16 ビット直線
周波数特性：	5 Hz ~ 20 000 Hz (± 1 dB)
S/N 比：	94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミックレンジ：	92 dB (1 kHz)
チャンネル数：	2 (ステレオ)
WMA デコーディングフォーマット：	Ver. 7、7.1、8、9、10、11 (2 ch audio) (Windows Media Player)
MP3 デコーディングフォーマット：	MPEG-1 & 2 AUDIO LAYER-3
WAV シグナルフォーマット：	Linear-PCM、MS ADPCM

●FM チューナー部

受信周波数帯域：	76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度：	11 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、モノラル、S/N：30 dB)
S/N：	72 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率：	0.3 % (65 dBf 入力、1 kHz、ステレオ)、 0.1 % (65 dBf 入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性：	30 Hz～15 000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオセパレーション：	45 dB (65 dBf 入力、1 kHz)

●AM チューナー部

受信周波数帯域：	522 kHz～1 629 kHz (9 kHz)
実用感度：	25 μ V (S/N：20 dB)
S/N：	62 dB (IHF-A ネットワーク)

●付属品

コードユニット：	1
取付ネジ類：	1 式
取扱説明書：	1
安全上のご注意：	1
保証書：	1
ご相談窓口・修理窓口のご案内：	1

メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター (沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00 (弊社休業日は除く)
コー バイオニア

電話  **0120-5-81028**

【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション (沖縄県のみ)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00 (土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話 【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品 (付属品・リモコン・取扱説明書など) のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～18:00 (日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話  **0120-5-81095**

【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス  **0120-5-81096**

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる  フリーコールおよび  フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00
土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

■ カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話  **0120-944-111**
【一般電話】 **03-5496-8016**

ファックス **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など